

令和3年度児童養護施設睦の家事業報告書

1 所在地 兵庫県丹波市青垣町文室 204 番 2

2 利用定員 30 人

3 職員定数 28 人 配置数 28 人

4 事業開始年月日 平成 25 年 4 月 1 日

5 事業運営基本計画

(1) 理念の実現を目指すと共に環境を理解把握し、状況に適応した諸計画を策定、実行する。

(2) 施設のユニット化、高機能化を推進する。

(3) 理念

① 利用者の意向を尊重し、利用者が尊厳を保ちつつ、健やかに育成されるよう支援する。

② 良質、適切、総合的な福祉サービスを提供する。

③ 事業を適正に遂行するため経営基盤を強化し、サービスの質の向上と経営の透明性を確保する。

④ 地域の住民及び福祉関係者と相互に協力し、地域福祉を推進する。

6 処遇実績

(1) 年間在籍児童数（各月初日在籍児童数）

区分／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
幼 児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
小 学 生	11	11	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12	136
中 学 生	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	81
高 校 生	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
そ の 他	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	29
計	29	29	29	30	30	29	29	29	30	30	30	30	354

(2) 一時保護・ショートステイ延日数

区分／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一時保護	97	67	67	12	115	64	140	108	78	86	103	91	1028
ショート									8	10			18

(3) 入所・退所児童数

区分\月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入 所	幼 児													2
	小 学 生							1					1	
	中 学 生			1									1	
	高 校 生													
退 所	幼 児											1	1	6
	小 学 生											1	1	
	中 学 生											1	1	
	高 校 生													
	そ の 他			1		1							1	

(4) 日常生活

規則正しい生活への自主的な適応を目指し指導に努めました。

平 日		休 日		備 考
起 床	6:30	起 床	6:30～ 7:00	おおむね適応している
朝 食	6:10～ 7:30	朝 食	6:50～ 8:00	〃
登 校	6:30～ 8:20	学 習	9:00～	〃
お や つ	10:00～10:30	お や つ	10:00～10:30	〃
昼 食	12:00～14:00	昼 食	12:00～13:00	〃
下 校	14:00～19:00			一部の児童は時間外
お や つ	15:00～15:30	お や つ	15:00～15:30	一部の児童は時間外
学 習	15:30～	学 習	15:30～	おおむね適応している
入 浴	16:00～20:30	入 浴	16:00～20:30	一部の児童は時間外
夕 食	17:30～19:10	夕 食	17:30～19:10	一部の児童は時間外
就寝消灯	20:00～23:00	就寝消灯	20:00～23:00	おおむね適応している
自主学習	21:00～24:00	自主学習	21:00～24:00	おおむね適応している

(5) 児童集団行事等実績

4月 1日	木のおもちゃを楽しもう!	児童 6名 職員 3名
5日	木のおもちゃを楽しもう!	児童 13名 職員 5名
30日～5月11日		
	駄菓子屋さん	全児童 勤務職員
5月19日・24日		
	バケツ稲を作ろう	全幼児、小学生6名 職員 2名
6月24日	ピザ釜完成!ピザパーティー	全児童 勤務職員
8月 2日	招待:ブルーベリー	小学生4名 職員 2名
21日	夏祭り	全児童 勤務職員
20日～25日		
	駄菓子屋 第2弾	全児童 勤務職員
9月11日	稲刈りをしよう	全幼児、希望小学生 職員 2名
11月 1日	招待:黒枝豆狩りに行こう	全中学生、希望小学生 勤務職員
3日	秋の野外昼食会	全児童 勤務職員
12月 4日	木工を楽しもう	児童 3名 職員 2名
4日	水中処分船を見学しよう	児童 8名 職員 2名
18日	竹あかりを作ってみよう	児童 12名 職員 4名
19日	そば打ち体験	児童 2名 職員 2名
3月19日～21日		
	駄菓子屋 第3弾	全児童 勤務職員
29日	久しぶりにみんなでおでかけ!	いちご狩り 全児童 職員 7名

(6) 避難訓練実績

各月1回 年12回

(7) 支援計画の策定と実施

① 自立支援

自立支援計画策定についての見直し(必要な児童については3か月ごとにこども家庭センターと協議)への対応として、全児童についてアセスメントシートを作成しました。1人の高専3年生については、希望する進路を実現することができました。また、措置延長した2名については、訪問指導等を行い、社会への自立のスタートをきる事ができました。

② 個別対応

被虐待児や集団に適応し難い児童等、個別対応が必要とされる児童6名について、生

活場面・創作活動での1対1の対応や個別面接を行い、個別ニーズを理解把握し、愛着関係の再構築を図りました。

③ 家庭支援

保護者への相談等を行い、親子関係の再構築を図り、家庭復帰に向けた支援をした結果、年度内に家庭復帰となった児童は1名でした。また、令和4年度家庭復帰に向けて2家庭3名の支援を行い、長期一時帰宅等における家庭との連携を図っています。

④ フォスタリング

関係機関と連携しながら、里親支援専門相談員を中心に里親支援の取り組みを続け、1組2名の里親委託が実現しました。また、令和1年度里親委託した1名については、週末レスパイト等を継続し、里親子支援を行っています。さらに、里親事前研修を実施し、里親の推進に注力しています。

⑤ 児童集団行事

新型コロナウイルスの影響で、多くの集団行事は実施することができませんでしたが、感染予防を徹底し、室内での駄菓子屋等こどもが楽しめる行事を工夫して実施しました。

7 支援結果の概要

- (1) 幼児は日常生活に概ね適応し明るく、元気よく、健やかに生活することができました。愛着面での課題が顕在化する児童がおり、個別対応等で工夫をしながら支援しました。
- (2) 新型コロナウイルス対策のため、登校日や学校行事が大幅に縮小しましたが、小学生の多くは、明るく、元気よく生活することができました。軽度発達障害や情緒面が不安定である児童については、学校、関係機関と連携しながら支援しました。
- (3) 新型コロナウイルス対策のため、登校日や学校行事が大幅に縮小しましたが、中学生全般に元気に生活することができました。中学3年生4名はしっかりと学習に取り組み、それぞれが希望する高校に進学することができました。
- (4) 高校生6名は、概ね安定した高校生活を送ることができました。高専3年生（高校卒業学年）1名については、希望どおり進級することができました。大学生1名短大生1名は期間延長し、自立支援に努めました。
- (5) 特別な支援の必要な児童12人
知的障害5、情緒・軽度発達障害7
- (6) 通院児童 31人、延334人
- (7) 予防接種 インフルエンザ29名 日本脳炎2名 二種混合1名 麻疹風疹3名
コロナ13名
- (8) 健康診断 春27名 秋27名

【運営管理】

1 人事・労務

(1) 職種別職員数

職 種	施設長	指導員保育士等	心 理	事 務	栄養士	調理員	非常勤	嘱託医	計
年度始	1	16	0	1	2	2	6	1	29
年度末	1	15	0	1	2	2	6	1	28

(2) 職員採用

採用年月日	職 種	学 歴	福祉施設経歴等	備考
4月 1日	児童指導員	短大	介護職員	
4月 1日	管理宿直専門員	大学	なし	

(3) 職員異動・変更

異動年月日	人数	異動状況
4月 1日	1	くれよんより児童指導員異動

(4) 退職

区分	退職・休業等の月日・期間	職種	学歴	理由
退職	3月31日	児童指導員	高校卒	契約満了

2 協定締結及び届出

3 6 協定 (令和3年3月31日締結 3月31日届出)

3 会議

(1) 施設が開催した内部の主要会議

- ① 職員会議
- ② 職員ミーティング
- ③ リーダー会議
- ④ 給食会議
- ⑤ 児童と職員の会議
- ⑥ 支援検討会議(自立支援計画策定会議を含む)
- ⑦ 実習生と職員との反省会議

(2) 関係機関等開催の外部会議

県養連協議員会議、児童福祉施設関係機関会議、職員幹事会議、小中PTA会議、高校評議員会、こども家庭センターとの会議、小学校・中学校・教育委員会との会議、県児養連理事会、要保護児童対策地域協議会議、丹波市社会福祉法人協議会、丹波市子ども子育て会議

4 職員健康診断

入社時検診 6月 1名
定期健診 7月 16名
(12月 1月 2月 3月) 25名
インフルエンザ予防接種 13名
腸内細菌培養検査 17回 延べ73名

5 監査等

(1) 第三者評価

内部評価

(2) 行政指導監査

チェックリストによる監査

(3) 消防査察

消防査察 令和2年度はなし

(4) 自主点検

建物遊具点検 (毎月)

6 研修

(1) 職員外部研修

中堅職員研修（リモート）ファミリーソーシャルワーカー研修（リモート）里親研修会

(2) 職員内部研修

事業計画、子育て支援規準研修、自立支援計画実施研修、支援技術研修、
栄養・給食研修、施設内虐待防止研修

7 苦情解決

*令和3年度は意見箱や口答で苦情や要望があり、下記の通り対応致しました。

①Wi-Fiを23時以降も自由に使えるようにしてほしい。

・就寝時間が23時であり、十分な睡眠時間の確保やゲーム、スマホ依存防止のために現状の利用時間とする。

②バスケットゴールを設置してほしい。

・児童とルールを話し合い、

ア：安全確保：よじ登らない

イ：後片付け

ウ：みんなで仲良く使う：独占しない

を共通理解し、設置した。

【施設整備等】

1 建物・設備の整備

1Fテラス囲い 1,034,000円 1月

2 器具及び備品、ソフト、車輛の購入

洗濯機 2台	261,470円	4月
ノートパソコン 2台	281,600円	4月
デスクトップパソコン 1台	165,000円	4月
軽自動車 1台	318,100円	10月
外灯 1台	200,200円	1月
乗用車（ノア） 1台	3,783,000円	3月
光触媒空気清浄機 2台	250,800円	3月

【寄付金・寄付物品受領】

寄付件数 109件 417,625円

【地域との交流・連携】

1 実習生・ボランティアとの交流と連携

・実習生等の受入と指導及び実習関係大学との交流・連携

※実習受け入れ校

豊岡短大 湊川短大 園田短大 大阪青山大 元町こども専 19名 190日

2 学校・地域社会を通じた交流と連携

※新型コロナウイルス対策のため実施なし

3 関係機関・各種団体との連携

- ・ 県児童課等関係部局、こども家庭センター、関係市家児相、健康福祉事務所
- ・ 教育・保健・医療機関
- ・ 市役所、警察署、消防署、職安、労基署、社会保険、その他の官公庁
- ・ 民生委員児童委員、主任児童委員、子どもの権利擁護委員会
- ・ 県児童養護連絡協議会、近畿児童養護施設協議会、全国児童養護施設協議会
- ・ 第三者委員
- ・ 社会福祉協議会、共同募金会、但馬里親会、北摂丹波里親会
- ・ 要保護児童対策協議会（丹波市、丹波篠山市）

4 地域の子育て相談事業・支援事業

- ・ 一時保護
- ・ ショートステイ事業
- ・ 子育て支援事業

※ショートステイ事業については、一時保護児童の受け入れを優先したためほとんど実施できませんでした。また、子育て支援事業についても、新型コロナウイルス対策のため実施できませんでした。